



新年の御挨拶

静岡県中小企業団体中央会

会長 山内 致雄

新年明けましておめでとうございます。

本会会員並びに関係機関の皆様にかかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年我が国経済を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、足元の景気は緩やかに回復して参りました。一方で、歴史的な円安や原材料・エネルギー価格高騰の中、価格転嫁の遅れによる収益力の低下など、中小企業では依然として厳しい経営環境が続いております。

さらには、賃上げに対する要請が強まる中、この要請に対応できない中小企業では人材確保・定着が一層困難な状況にあり、難しい舵取りを迫られております。

このように、企業活動に必要なあらゆるコストが上昇を続ける中、今後も事業を継続していくためには、将来に向けた投資のための源泉となる「収益」をいかに確保していくかが、中小企業の喫緊の課題であります。

そこで、本会では、昨年より中小企業の“稼ぐ力向上”をテーマに掲げ、「新しい付加価値の創出」、「デジタルを活用したコスト削減」、そして、中小企業の貴重な資本である「人材の確保・育成」という3つの視点に基づき、中小企業組合並びに組合員の皆様の経営課題の解決を図るべく事業に取り組んでおります。

中小企業がこの大きな時代の節目に於いて、様々な課題を乗り越えていくためには、それぞれの企業努力、即ち「自助」が不可欠であります。しかし、「自助」だけでは乗り越えられない課題に対しては、「共助」の組織である組合の力を欠くことは出来ません。

私共中央会と致しましては、組合員の皆様の“稼ぐ力向上”に向けた組合の活動を積極的にご支援して参ります。会員組合の皆様にかかれましては、本会と

ともに、今、まさに求められている“稼ぐ力向上”に向け、ご尽力戴きたく存じます。

さて、本年の干支である「甲辰」であります。「甲」は草木などが成長していくことを表す意味があり、「辰」は草木の形が整った様子を意味しています。このことから、成功という芽が成長し、姿を整えていき、大きな成果や繁栄をもたらす年になると言われております。本年は、これまでのコロナ禍での努力が実り、成果に繋がることを大いに期待しております。

本会と致しましても、役職員一丸となり、会員組合・組合員企業の皆様が大いなる飛躍の年を迎えられますよう、新年の決意も新たに業務に邁進することをお誓い申し上げます。

結びに、日本経済を覆う先行きの不透明感が払拭され、本年が皆様にとりまして、希望に溢れる1年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和六年元旦

静岡県中小企業団体中央会
会長 山内致雄